

景観資源の名称:

りゅうおんじ

# 龍穩寺

所在地: 越生町 大字龍ヶ谷

建築物

## 紹介文:

室町時代の名将太田道真・道灌父子が中興した曹洞宗の古刹。江戸時代には全国曹洞宗寺院の監督役である「関三刹(関三箇寺)」に任ぜられた。指定文化財の経蔵(県指定)・山門(町指定)・熊野神社社殿(町指定)は江戸後期の天保年間に再建されたもので、土木工事は長沢村(飯能市)の三吉(八徳の三吉)、装飾彫刻は上州山神村(群馬県太田市)の岸亦八が手がけた。「武蔵越生七福神めぐり」の毘沙門天の寺。

アクセス 越生 駅より車 にて20分 /

紹介文献 『越生の歴史Ⅲ』(1999.越生町教育委員会)、『越生叢書4／おごせの文化財』(2003.越生町教育委員会) 等

関連URL:

## 表彰・文化財情報

### 【彩の国景観賞】

受賞歴 無し 受賞年度 年度

### 【市町村景観賞】

賞名 受賞年度 年度

その他表彰等

景観法指定状況

### 【文化財】

指定文化財 県指定

登録文化財 無し

## 資源情報

所有者属性 法人

所有者名 宗教法人 龍穩寺

設計者

施工者

時代区分 江戸 竣工年(西暦) 1841年

訪問・見学対応  敷地外から望見可能  建築物内部の見学可能  有料  
 敷地内の見学可能  要予約・問い合わせ  非公開 ※該当するものに×が表示されます。

(訪問見学注釈)

データ  
入力者  
情報

入力担当市町村名

越生町

入力担当部所名

まちづくり整備課 まちづくり担当

最終更新年月日

2012.8.6

情報初期登録年月日

2007.3.26